

2019年10月23日
SCSK株式会社

SCSK、「AWS マネージドサービスプロバイダプログラム」認定を取得 トレンドマイクロ Security Automation を活用したセキュリティーサービスの提供を開始

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者:谷原 徹、以下 SC SK)は、アマゾン ウェブ サービス(以下 AWS)のパートナープログラム AWS パートナーネットワーク(以下 APN) コンサルティングパートナー向けプログラムである「AWS マネージドサービスプロバイダ(以下 MSP) プログラム」の最新のバリデーションチェックリスト 4.0 をもとにした監査に合格しました。本 MSP 認定は、すでに認定を取得している APN プレミアコンサルティングパートナーを除いては日本初の認定となります。

認定取得にあたり、SCSKは、MSP の監査基準に準拠したクラウドサービスの機能開発を進めており、第一弾として、セキュリティー分野における運用自動化サービスを、現在提供中の AWS 監視運用代行サービスのメニューとして、2019年10月23日から提供開始します。



1. MSP の概要とサービス化の背景

MSP は、AWS の設計、構築や移行、運用、自動化、最適化までの次世代のマネージドサービスを、高度な技術と仕組みによってお客様に提供する APN パートナーを、AWS が認定するものです。第三者の監査機関によって監査が行われ、このたびSCSKは 2019 年にリリースされたバージョン 4.0 の監査基準をクリアしました。これはすでに MSP 認定を受けており、バージョン 4.0 で認定を更新する APN プレミアコンサルティングパートナーを除いては、日本初の認定となります。

今回SCSKが開発した MSP に準拠する運用基盤のうち、セキュリティー分野について、トレンドマイクロの「Trend Micro Deep Security^{※1}」と AWS 機能の連携によるセキュリティー自動化機能「Security Automation」を採用しました。

※1 Trend Micro Deep Security: サーバーセキュリティーに必要な複数の機能を1つの保護モジュールに実装した総合サーバーセキュリティー製品

脅威や攻撃が高度化する現在、セキュリティーインシデントが発生した際の迅速な対応が求められています。SCSKは、トレンドマイクロの Security Automation をベースに、各種攻撃への一次対応を自動化する機能を追加開発することにより、セキュリティーインシデントの対応時間短縮を実現しました。この機能を、現在提供中の

エンタープライズ向け AWS 運用代行サービス「パブリッククラウド運用サービス」のオプションメニューに追加し、「Security Automation サービス」として提供開始します。

●パブリッククラウド運用サービス: https://www.scsk.jp/sp/usize/service/public_cloud.html

2. Security Automation サービスの概要

「パブリッククラウド運用サービス」の監視対象の AWS 環境に対し、以下の機能を選択いただけます。

(1) マルウェア感染インスタンスの自動隔離

Trend Micro Deep Security のマルウェア検出で検知された EC2 インスタンス^{※2}に対し、状態保存、切り離し/隔離、調査用インスタンス作成、メール通知を実施。迅速な一次対応を実現します。

※2 EC2 インスタンス: AWS が提供する仮想サーバー

(2) Amazon GuardDuty^{※3} 連携

「GuardDuty」で脅威を検知した EC2 インスタンスに対し、推奨ルールの適用とスキャン、メール通知を実施。脅威に対する検知力と対応力の強化を実現します。

※3 GuardDuty: 悪意のある操作や不正な動作を継続的にモニタリングする脅威検出サービス

(3) AWS WAF(ウェブアプリケーションファイアウォール)連携

Trend Micro Deep Security の IPS^{※4}/IDS^{※5}で検知した脅威元 IP を AWS WAF の IP ブロックリストに登録し、多層防御を実現(一定時間後解除)。Trend Micro Deep Security の豊富なルールを利用し、脅威遮断を実現します。

※4 IPS: 悪意のある第三者からのアクセスおよび侵入を防止するシステム

※5 IDS: 悪意のある第三者からのアクセスおよび侵入を検知するシステム



3. 今後の展開

今回のセキュリティ機能の他、IT サービスマネジメントの自動化、DevOps 基盤などの機能を今後順次リリースしていき、AWS の運用の効率化、高品質化、開発との連動による事業サイクルの迅速化などに寄与していきます。



トレンドマイクロ社からのエンドースメント

トレンドマイクロは本発表を歓迎します。

トレンドマイクロは、総合サーバーセキュリティ製品「Trend Micro Deep Security」を AWS 上で利用する際に、インシデント発生をトリガーとしてセキュリティ対策を自動的に行うオートメーションツールを提供しています。SCSK様の「Security Automation サービス」は、当社が提供する「Trend Micro Deep Security」とオートメーションツールをカスタマイズし、マネージドサービスとして国内で初めて提供するものです。SCSK様が本サービスを提供することで、より多くのお客様が安全なクラウド環境を利用できることを期待しております。

トレンドマイクロ株式会社
上席執行役員 営業統括
大場 章弘

アマゾン ウェブ サービス ジャパン社からのエンドースメント

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社は SCSK様の MSP プログラム認定取得を歓迎いたします。バリデーションチェックリスト 4.0 をもとにした新規の監査合格は日本初であり、これは SCSK様が次世代のマネージドサービスを提供する能力を保持している証と認識しています。日本の多くのお客様は APN パートナーにより使いやすい AWS サービスとソリューションの利用環境の提供と管理を望んでいます。SCSK様がこれらお客様の期待に応え続けることを期待しております。

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 執行役員
パートナーアライアンス統括本部 統括本部長
渡邊 宗行

本件に関するお問い合わせ先

【本認定に関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

netX データセンター事業本部

クラウドサービス部

E-mail: usize-info@ml.scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

広報部 後藤

TEL: 03-5166-1150

※ アマゾン ウェブ サービス、Amazon Web Services、AWS、Amazon EC2、AWS Lambda および

Amazon Web Services ロゴは、米国その他の諸国における Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。